

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	いろいろんびつ		公表日 2025年2月18日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		室内では段差や死角をなくし、見通しを良くしている。フロンフロアの中で、作業スペースと活動スペースを区別している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準配置人員とは別に加配人員1名~2名を常時配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		室内では段差をなくしてバリアフリーにしており、どの場所からも全フロアの内容が把握できる構造となっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		常に清潔を保ち、定期的な清掃や消毒を行っている。子どもたちの特性に応じた活動ができるよう環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要な場合に限り、個室を利用できるようにしている。危険防止の為、必要以外の立ち入りには制限を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		業務日誌や支援日誌により、業務の適正化を確認している。また、改善、評価についても会議等を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者評価に対し、必要に応じて業務改善計画を立てている。また、職員会議の中で検討、計画、改善を行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員会議の中で意見を述べ、必要に応じて業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価を行っていない。今後検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		資質向上のための社内研修を実施し、社外研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		定められたルールに基づき支援プログラムを作成して公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定められた時期に適切な解析を行い、個別支援計画の見直しや変更を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全体で支援会議を行い、職員全体の共通認識のもと、ひとりひとりにあった支援目標を定めて支援、療育を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全体で個別支援計画会議を行い、内容について共通認識のもと支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		支援日誌などを用いて情緒の観察、状況の観察を行い、適切にアセスメントを調整して日々の支援にあたっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画書では短期目標、長期目標を定め、5領域の項目の中で、将来的な支援目標を立て、本人、家族、地域に共通する支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員全体で活動計画会議を行い、様々な活動プログラムを立てて実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		職員全体で活動計画会議を行い、季節に応じた活動や、社会性を身につけるための活動プログラムを立てて実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		ひとりひとりの状況や特性に応じた個別支援計画を立てて支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の支援会議の中で、当日に利用予定の利用者に応じた支援内容を話し合い、職員全体で連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、職員全体で支援日誌や業務日誌を用いて情報共有を行い、当日の評価について話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		来所から帰宅までの利用状況を細かく支援日誌に記録し、支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング会議を行い、計画の見直しや判断を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		複数の基本活動を組み合わせ、具体的な支援、および評価を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援活動の中で、利用児童本人が楽しんで支援を受けられるよう活動内容の選択肢を設けて支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		定められた時期、内容を理解し、各関係機関と担当者会議を行い、より良い支援につなげている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用児童の主治医と話し合いを行うほか、障がい福祉、学校などの関係機関と連携をとりながら支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時など、担任と情報共有を行っている。 また、保護者との会話の中で情報を取り入れて支援を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用していた児童発達支援事業所等との担当者会議を行うなど情報共有を行いながら相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者会議を行い、これまでの状況などを情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○		今後検討したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		公園などで他児童たちとの交流はあるが、計画的、定期的な児童クラブ等の児童たちとの交流がないため、今後の話し合いなどを増やしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			催しや共同活動への参加をしている。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から保護者との連携を図り、直接の会話や連絡帳での活動連絡、自宅での様子、LINE等のネットを活用した情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族への助言や、他関係機関との連携によって家族支援、対応力向上の支援を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や、運営規定、支援プログラム変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		家族との話し合いや会議、担当者会議のときに本人および家族の意向を聞き取り、内容を踏まえて支援を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		直接面談を行い、内容の説明、同意をいただいたうえで支援を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や電話、連絡帳、LINEなどで相談を受け付け、適切な助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	○		今後検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の責任者をおき、適切に対応している。 また、障がい福祉課等とも連携し、速やかに解決できるよう対策を講じている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		活動内容等はホームページ、LINEグループなどを活用して情報を公開している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報管理責任者をおき、適切に管理している。		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		状況に応じた方法を用いて意思疎通や情報伝達を行っている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			行っていない。(今後検討したい)	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各対策マニュアルを作成し、職員や家族の周知したうえで訓練等も定期的に行っている。	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPマニュアルを作成し、職員や家族の周知したうえで訓練等も定期的に行っている。	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時や発症時には家族より症状等の情報を提供いただき、対応を行っている。	
		49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーについて聞き取りを行い、おやつや食事提供の際に適切な対応を行っている。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、適切に管理しながら研修や訓練を行いながら支援を行っている。		
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		子どもの安全に関して、家族と連携し、情報共有を行っている。		
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		日々の活動の中で「ヒヤリハット」を作成して会議などで情報共有しながら安全対策を講じている。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止会議を行い、虐待防止研修などに参加して虐待防止に努めている。			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		当事業所のルールとして、いかなる場合であっても身体拘束を行っていない。(特性に応じた様々な他の方法で情緒の安定を図っている)			